

日医発第 215 号（法安）  
令和 8 年 4 月 22 日

都道府県医師会  
担当理事 殿

日本医師会  
常任理事 藤原 慶正  
（公 印 省 略）

### 「使用上の注意」の改訂について

今般、厚生労働省医薬局医薬安全対策課より「使用上の注意」の改訂について、日本製薬団体連合会安全性委員会委員長宛て通知を発出した旨、本会宛連絡がありました。

つきましては、貴会管下会員へのご周知方よろしくお願い申し上げます。  
なお、下記 URL の厚生労働省ホームページに「「使用上の注意」の改訂について（令和 8 年度）」として掲載されておりますことを申し添えます。

### 記

- ・「使用上の注意」の改訂について（令和 8 年度）  
[https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_72757.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_72757.html)

以上

事 務 連 絡  
令和 8 年 4 月 21 日

公益社団法人日本医師会 御中

厚生労働省医薬局医薬安全対策課

「使用上の注意」の改訂について

医薬品の安全対策については、平素から格別の御高配を賜り厚く御礼申し上げます。  
今般、別添のとおり、日本製薬団体連合会安全性委員会委員長宛て通知しましたのでお知らせします。

別添

医薬安発 0421 第 1 号  
令和 8 年 4 月 21 日

日本製薬団体連合会  
安全性委員会委員長 殿

厚生労働省医薬局医薬安全対策課長  
( 公 印 省 略 )

「使用上の注意」の改訂について

医薬品の品質、有効性及び安全性に関する情報の収集、調査、検討等を踏まえ、医薬品の「使用上の注意」の改訂が必要と考えますので、下記のとおり必要な措置を講ずるよう貴会会員に周知徹底方お願い申し上げます。

記

別紙 1 から別紙 5 のとおり、速やかに使用上の注意を改訂し、医薬関係者等への情報提供等の必要な措置を講ずること。

また、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（昭和 35 年法律第 145 号。以下「法」という。）第 68 条の 2 の 3 第 1 項に規定する届出が必要な医薬品の注意事項等情報を改訂する場合については、法第 68 条の 2 の 4 第 2 項に基づき独立行政法人医薬品医療機器総合機構宛て届出を行うこと。

別紙 1

【薬効分類】 239 その他の消化器官用薬  
399 他に分類されない代謝性医薬品

【医薬品名】 インフリキシマブ（遺伝子組換え）  
インフリキシマブ（遺伝子組換え） [インフリキシマブ後続1]  
インフリキシマブ（遺伝子組換え） [インフリキシマブ後続2]  
インフリキシマブ（遺伝子組換え） [インフリキシマブ後続3]  
エタネルセプト（遺伝子組換え）  
エタネルセプト（遺伝子組換え） [エタネルセプト後続1]  
エタネルセプト（遺伝子組換え） [エタネルセプト後続2]

【措置内容】 以下のように使用上の注意を改めること。

下線は変更箇所

現行	改訂案
11. 副作用 11.1 重大な副作用 (新設)	11. 副作用 11.1 重大な副作用 <u>自己免疫性肝炎</u>

別紙2

【薬効分類】 3 2 1 カルシウム剤

【医薬品名】 塩化カルシウム水和物（電解質補液の電解質補正を効能に有する製剤を除く注射剤）

【措置内容】 以下のように使用上の注意を改めること。

下線は変更箇所

現行			改訂案		
2. 禁忌（次の患者には投与しないこと） <u>ジギタリス製剤（ジゴキシン等）を投与中の患者</u>			2. 禁忌（次の患者には投与しないこと） （削除）		
10. 相互作用			10. 相互作用		
10.1 併用禁忌（併用しないこと）			（削除）		
<u>薬剤名等</u>	<u>臨床症状・措置方法</u>	<u>機序・危険因子</u>			
<u>ジギタリス製剤</u> <u>ジゴキシン等</u>	<u>心停止を引き起こすこと</u> <u>がある。</u>	<u>ジギタリス製剤の作用</u> <u>を増強するおそれがある。</u>			
10.2 併用注意（併用に注意すること）			10.2 併用注意（併用に注意すること）		
（新設）			<u>薬剤名等</u>	<u>臨床症状・措置方法</u>	<u>機序・危険因子</u>
			<u>強心配糖体</u> <u>メチルジゴキシン</u> <u>ジゴキシン</u> <u>デスラノシド</u>	<u>強心配糖体の作用を増強</u> <u>し、徐脈、心室性期外収</u> <u>縮、房室ブロック、心室</u> <u>頻拍等の中毒症状を誘発</u>	<u>カルシウムは強心</u> <u>配糖体の心筋収縮</u> <u>力増強作用を強め</u> <u>る。</u>

	<p>するおそれがある。心停止を引き起こすことがある。治療上やむを得ないと判断される場合を除き、これらの薬剤との併用は避けること。やむを得ず併用する場合には、心電図検査等によるモニタリングを行い、不整脈の発現に対応できるようにすること。また、急激にカルシウム濃度を上昇させるような使用法は避けること。</p>	
--	--	--

別紙 3

【薬効分類】 3 2 1 カルシウム剤

【医薬品名】 グルコン酸カルシウム水和物

【措置内容】 以下のように使用上の注意を改めること。

下線は変更箇所

現行			改訂案		
2. 禁忌（次の患者には投与しないこと） <u>強心配糖体の投与を受けている患者</u>			2. 禁忌（次の患者には投与しないこと） (削除)		
10. 相互作用			10. 相互作用		
10.1 <u>併用禁忌（併用しないこと）</u>			10.1 (削除)		
<u>薬剤名等</u>	<u>臨床症状・措置方法</u>	<u>機序・危険因子</u>			
強心配糖体 <u>メチルジゴキシン</u> <u>ジゴキシン等</u>	<u>強心配糖体の作用を増強し、徐脈、心室性期外収縮、房室ブロック等の中</u> <u>毒症状を誘発するおそれがある。</u>	<u>カルシウムは強心配糖体の心筋収縮力増強作用を強める。</u>			
10.2 併用注意（併用に注意すること）			10.2 併用注意（併用に注意すること）		
(新設)			<u>薬剤名等</u>	<u>臨床症状・措置方法</u>	<u>機序・危険因子</u>
			強心配糖体 <u>メチルジゴキシン</u>	<u>強心配糖体の作用を増強し、徐脈、心室性期外収縮</u>	<u>カルシウムは強心配糖体の心筋収縮</u>

	<p><u>ジゴキシン</u> <u>デスラノシド</u></p>	<p><u>縮、房室ブロック、心室</u> <u>頻拍等の中毒症状を誘発</u> <u>するおそれがある。治療</u> <u>上やむを得ないと判断さ</u> <u>れる場合を除き、これら</u> <u>の薬剤との併用は避ける</u> <u>こと。やむを得ず併用す</u> <u>る場合には、心電図検査</u> <u>等によるモニタリングを</u> <u>行い、不整脈の発現に対</u> <u>応できるようにするこ</u> <u>と。また、急激にカルシ</u> <u>ウム濃度を上昇させるよ</u> <u>うな使用法は避けるこ</u> <u>と。</u></p>	<p><u>力増強作用を強め</u> <u>る。</u></p>
--	---------------------------------------	--	--------------------------------------

別紙 4

【薬効分類】 4 2 9 その他の腫瘍用薬

【医薬品名】 アベルマブ（遺伝子組換え）

【措置内容】 以下のように使用上の注意を改めること。

下線は変更箇所

現行	改訂案
<p>11. 副作用</p> <p>11.1 重大な副作用 (新設)</p>	<p>11. 副作用</p> <p>11.1 重大な副作用</p> <p><u>重度の皮膚障害</u></p> <p><u>中毒性表皮壊死融解症 (Toxic Epidermal Necrolysis : TEN) 等の重度の皮膚障害があらわれることがある。また、類天疱瘡があらわれることがあるので、水疱、びらん等が認められた場合には皮膚科医と相談すること。</u></p>

別紙 5

【薬効分類】 4 2 9 その他の腫瘍用薬

【医薬品名】 レゴラフェニブ水和物

【措置内容】 以下のように使用上の注意を改めること。

下線は変更箇所

現行	改訂案
11. 副作用 11.1 重大な副作用 (新設)	11. 副作用 11.1 重大な副作用 <u>高アンモニア血症</u> <u>肝機能異常を伴わずに、高アンモニア血症があらわれることがある。</u> <u>意識障害が認められた場合には、アンモニア値の測定を考慮</u> <u>すること。</u>